

# 大麦特報（第6号）

平成23年5月  
富山農林振興センター  
富山市農業協同組合

今年の大麦は、昨年以上に出穂期が遅れ、成熟期も遅れる見込みです。また、地域やほ場による成熟期の差が大きくなっていますので、下表を参考に、成熟状況に応じて計画的に刈取りを進めましょう。

## 《刈取時期の予想》

出穂日	27	4 30	5 3
( 日)	9	11	13

\*成熟期：出穂後積算気温（5月17日以降は近年値（H13～22の平均）を使用）750℃となる日で予想。

## 刈取前の注意事項

### （1）カラスノエンドウの抜き取り

刈取り前にはほ場を巡回し、カラスノエンドウがあれば必ず抜き取りましょう。

この種子は粒厚が3mmと大きく、刈取時に混入すると、調製では取り除くことができず、等級を下げる原因となります。

### （2）被害粒の混入防止

成熟ムラや病害の発生が多いものについては、刈取りおよび搬入は別扱いとしましょう。



※大麦ほ場に発生したカラスノエンドウ

## 適期刈取の実施

刈取り前に子実水分を必ず確認し、子実水分30%以下になった頃（子実に爪を立てても跡が残らなくなる頃）から刈取りを始めて下さい。

早刈りは、空洞粒の原因となり、刈遅れは、硬質粒の原因となるので、計画的な収穫に努めましょう。

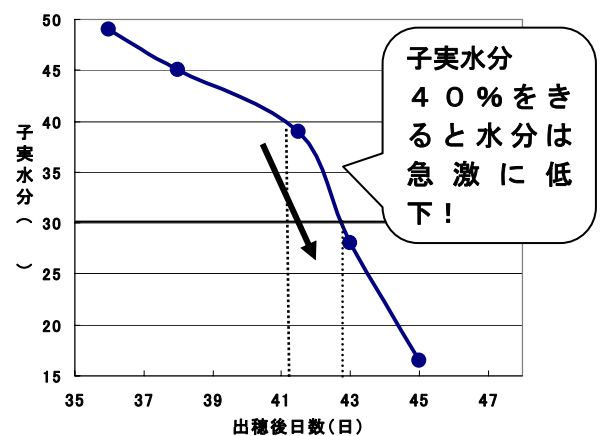


図 出穂後日数と子実水分の関係